

株式会社JCNコアラ葛飾では、番組審議委員による2012年度放送番組審議会を開催し、自主制作番組について多岐に亘り審議していただきました。この審議内容を踏まえ、地域の皆様に親しまれ信頼を得られるよう、よりよい番組づくり・番組の適正化に努めてまいります。

2012年度番組審議会

●日時 2013年3月5日(火) 午前11時10分から午後1時45分

●場所 株式会社JCNコアラ葛飾 会議室

●出席者

<番組審議委員>

委員長 薄葉 博司

副委員長 三矢 慶三

委員 石川 章治

長田 宏

堤淳 子

橋本 裕子

松島 英雄

<株式会社JCNコアラ葛飾>

樋江井 和徳 (代表取締役社長)

伊澤 和紀 (メディア事業部 放送制作課 課長)

高田 裕一 (メディア事業部 放送制作課 課長代理)

梶間 亨 (メディア事業部 放送制作課 課長代理)

黒澤 修史 (メディア事業部 企画課 課長)

塩見 英輝 (メディア事業部 企画課 課長)

荒川 良子 (メディア事業部 企画課 課長代理)

<ジャパンケーブルネット株式会社>

日沖 英明 (千葉エリア制作室 室長)

●主な発言

【デイリーニュース】

- ・ 地域を盛り上げようという姿勢が感じられて良い。
- ・ 民放と比べてほのぼのと癒される番組であり、ケーブルテレビの良さが感じられる。
- ・ イベントや名物文化、ものづくりの現場紹介など内容が多岐にわたり関心した。
- ・ ニュースソースの収集は、視聴者特派員制度を設け情報提供を募ったり、録音可能なニュース専用ダイヤルを設け、そこに情報を提供してもらうなど、視聴者が情報提供しやすい工夫が必要ではないか。
- ・ 自治会の活動の取材などは、主催者の訴えたいことが伝わる構成にしてほしい。
- ・ 防犯・防災・環境・福祉などの、コミュニティの取り組みをもっと取り上げてしてほしい。
- ・ 行政は多くの情報をもっているのので、行政との情報共有をもっと積極的に行ってほしい。
- ・ お笑いタレントの起用は良い。ハプニング的な放送に感じられ、観ていて面白い。
- ・ エンディング曲が良い。

【葛飾区広報番組】

- ・ 防災・減災を取り上げたすばらしい番組だが、視点が違っているように感じる。
- ・ 内容が退屈してしまう。視聴者が理解しやすい内容になるよう、引き付ける努力が制作側に必要。また、行政の担当者をスポークスマンに仕立てあげ、「防災情報といえばこの人」と認知されるような作りをしていくのも良いのでは。
- ・ 4行政（松戸市・流山市・野田市・葛飾区）を姉妹都市と位置づけ、それぞれの活動を放送してほしい。
- ・ 夜の放送回数を増やし、帰宅後のお父さんたちに観てもらえるよう工夫してほしい。

【あの店この店】

- ・ 引き付けられる良い番組。

【故郷巡景】

- ・ 地元を知る良い情報になっている。

【昔のはなし】

- ・ 地域の今をのぞいてみようは興味深く楽しめる。
- ・ 親しめる番組だが、同じ話をリピートしすぎ。

【その他】

- ・ 古くからの住民と、新しい住民とのコミュニケーションがとれていないので、両者が関われるような番組があると良い。
- ・ シニアの健康番組など、シニアにスポットを当て、掘り下げた紹介をしてほしい。
- ・ 犯罪件数を放送するのは良いが、いつどこで起きたかなどもっと詳細な防犯情報を放送してほしい。
- ・ 全体として文化の香りのする良い放送に思う。
- ・ 各番組をリピートしすぎ、工夫してほしい。
- ・ 東葛駅伝は生中継を期待する。
- ・ 会員誌に掲載しているJCNコアラ葛飾チャンネルのタイムテーブルは掲載ページを工夫し、チャンネルをもっとPRしていくべき。

- ・ 年齢を限定したアンケート調査などを行い、番組に反映させていくべきでは。

【その他 サービスについて】

- ・ テレビとネットの不具合のないよう、バックアップ体制を整備してほしい。
- ・ スマートテレビにより、ケーブルテレビの進歩が感じられた。
- ・ 加入の仕方が分かりづらい。ただポスティングなどをするだけでなく、もっと工夫が必要に思う。

以上

JCNコアラ葛飾 番組審議会事務局